



9/1～動物資料展示館で外来生物展を開催！  
アライグマやアスマヒキガエル、何が問題かというね…

# ASAHIYAMA ZOO

発行所  
旭川市旭山動物園  
動物図書館  
☎ 36-1104

2010. 7. 24

## ココキ、安らかに

ココキのためにたくさんのお花が寄せられました



ココキ、今までありがとう  
そして、安らかに…

### 大自然の中で生きていた ココキ

これまでココキは何度か動物園生まれのオスと同居したことがありました。けれど、いずれも赤ちゃんには恵まれませんでした。野生生まれで、気が強いココキを、オスがこわがって近づくと、オスがオスとの同居が死してからは、オスとの同居はなく、のんびりとくらして

かという、ココキはもととも野生のホッキョクグマに産み育てられ、野生でくらししていた個体だからです。

- 1975年 野生で生まれる
- 1978年 上川ペアセンターへやってくる(推定3才)
- 1987年 上川ペアセンターより旭山動物園にやってくる(推定12才)
- 1995年 オスのポールと同居
- 2001年 ポール死亡
- 2002年 オスのカンゾウ来園・同居
- 2002年 ほっきよくぐま館オープン
- 2004年 オスのカンゾウ死亡
- 11年 メスのハッピーと同居
- 2008年 ハッピー死亡
- 2010年 メスのサツキ来園・同居
- 2010年 ココキ死亡 (推定34才)



2004年のポスターです。ココキはよく、はな先を動かして遠くのおいさをかいていました。まるで野生でのくらしを思い出しているかのようでした。

7月24日、ホッキョクグマのココキが死亡しました。国内で(7月24日現在)飼育されているホッキョクグマの中では最高齢の34才でした。ホッキョクグマの寿命の目安は25才とされていますので、大往生といえます。人気者だったココキ死亡のお知らせに、シヨックをうけた人も多いことでしょう。ココキの年齢が、なぜ推定なの



ココキが幼いころのことはわかりませんが、3才になって上川ペアセンターに、12才の頃に旭山動物園にやってきました。

## ココキは 野生リズム



過去に、ホッキョクグマの担当になったことがきっかけで禁煙でした人がいます。なぜなら、ホッキョクグマはとても神経質。担当の体についたタバコの臭いが原因で、寝室に入らないことがあったそうです。また、エサの種類や、置いてある場所がいつもと違うと食べないことも…。ちょっとした変化でも、ホッキョクグマにとっては気になるのですね。

そんな中、ココキはある年の冬、2ヶ月間もエサを食べず、外に出たままの時期がありました。ココキに「何があったの？」一見、心配しそうになりますが、実はココキはエサよりも好きなものがあつたのです。冬の夜、ふかふかの雪の中です〜とすごしていたのでしょ。雪を掘り、その穴に埋まるように寝てみたり、雪に体をこすりつけたり。当時、4頭いたホッキョクグマの中で、だれよりも冬を楽しんでいたようでした。

### だれよりも「野生」を伝えてくれたココキ、



おつかれさま、そしてありがとう

ココキは年齢を感じさせないほど食欲もありました。けれど、30才をすぎた頃から、耳の聞こえが悪くなり、去年の秋には右目がぼぼ見えないう状態になりました。今年の春には、右前足にマヒがみられ、治療を行っていました。足は良くなってきものの、老化による衰えが目立つようになってきていきました。7月22日、ココキの様子に異変があり、23日に立てなくなったので、検査と治療を行いました。翌朝の24日に死亡しました。

### 8がつ14にち

（株）キョクイ千様より動物たちへ氷のプレゼントがありました。中には大好きなくだものがいっぱい！どうもありがとうございました。

## 真夏の 氷の プレゼント

ニホンザルは氷にいた小さな穴に手を入れて、中のリンゴやバナナを取り出そうと…

ペンギンたちは、氷の山にのぼってみたり、氷のカケラをくわえたりしてあそんでいました

ホッキョクグマのルルはあつという間に氷をこなごなに砕き、中のリンゴをゲット

チンパンジーたちは氷をけつたり、たおしたり。氷のふたがパカッとあいたところからくだものをとりだして…

